

豊中市議会議員(市民派・無所属)

福岡まさき

平成29年7月 無所属の会 発行 市政だより

六月定例会



北急各駅のホームドア設置とバリアフリー対策で安心・安全

○ホームドア設置が実現します

駅ホームでの転落や接触事故、自殺防止対策にホームドア設置が絶大な効果があることは証明されています。また、事故が生命に重大な結果を招くだけでなく、ダイヤの混乱や人々の生活にも大きな経済的損失につながっています。

このことに着目し市内各駅のホームドア設置に積極的に取り組んできました。北急千里中央駅の設置については平成29年度中に完成、桃山台、緑地公園各駅については30～31年に完成予定とご報告してきました。しかし、事故防止と混乱や損失をなくするためには早期実現こそが最優先と市を通じ積極的に国や事業者に働きかけました。その結果、各駅の完成時期を早めることが出来ました。

- ・ 千里中央駅⇒29年6月着工、9月完成
- ・ 桃山台駅⇒29年7月着工、30年3月完成
- ・ 緑地公園駅⇒桃山台駅と同時に実現

(完成時期はいずれも予定です)

◆急がれる 阪急宝塚線各駅

豊中市内には阪急宝塚線(市内に6駅)が走っていますがいずれの駅もホームドアはありません。各停ではなく高速で電車が通過する駅も多いことから日常的に市民が危険にさらされており早期実現に取り組んでまいります。

○桃山台駅バリアフリーも今年度完成

桃山台バスターミナル側からはバリアフリー化(エレベーター設置)が実現していません。設置義務者は吹田市ですが、利用者の大半が豊中市民であることが遅れている理由と言われています。利用者の安全や利便性確保にこうしたことは関係ないことから豊中市だけでなく、私自身が直接吹田市や国、関係者にも働きかけ平成29年度の完成が決定しました。早められた理由の一つが逆のケース(設置義務者が豊中市、利用者の多くが吹田市民)で豊中市東寺内での歩道建設(約300m)を自らの提言と市民協力で実現できた実績が影響したと思われます。

「無所属の会」議員団控え室

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号
TEL 6858-2620(直通) FAX 6852-2384

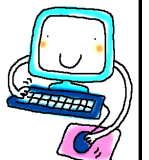
会派所属議員 大町裕次、北之坊晋次
神原宏一郎、松岡信道
福岡まさき TEL 06-6833-7705

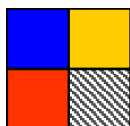
福岡正輝 ホームページもごらんください

<http://www.fukuokamasaki.com>

ヤフー、グーグルで「福岡まさき」を検索してお入りください。

日常の活動や政治信条、市政の裏話など報告しています。





【福岡まさき】

活動日記

バス停の改修とベンチ設置

10年以上前になりますが、千里ニュータウン内を走っている阪急バスのバス停改修の要望を市民の方から受け、ベンチと可能なところは屋根の設置を阪急バスに要請し実現。その後も経年劣化等により壊れたり不具合な場所も何ヶ所もあり更新してきました。

今回、新たな市民要望を受け桃山台バスロータリー内のベンチ未設置部分を吹田市と阪急バスに要請し実現。また、新千里西町2丁目(千里中央行)にもベンチが設置されることになりました。こうした利用者や市民目線であれば気づきにくい箇所の指摘についてはこれからもご協力よろしく願いいたします。



ごみ焼却場で火災が頻発

◆原因はゴミの中の携帯電話！

充電式電池が粉碎され移動中に発火（今年前半だけで42件の火災）

最新の電子機器は都市鉱山（廃棄される機器に含まれる貴金属やレアメタルなど）ともよばれ貴重な資源が含まれているんだよ！

携帯電話はゴミではありません！



現在、豊中市では市施設やスーパーなど19か所で携帯電話やパソコン、ゲーム機などの回収に取り組んでいます。

市民への啓発活動や都市鉱山としての資源再利用を通じて火災事故の未然防止と経済的利益の両面から取り組んでいます。まだまだ十分とは言えません。市民の皆様のご理解とご協力をよろしく願いいたします。

「福岡まさき」は豊中を変える政策集団「無所属の会」の一員として日々活動しています。

「政治は結果とスピード」を信条として確実な成果をめざします。

行事参加で現場力が...

議会代表での行事への参加が急増。現場経験や参加者からの意見の拝聴が施策立案と実現力に...

◆主な行事への参加（一部ですが）

- シルバー人材センター総会
- 千里中央ワークショップ ⇒ 千里にある公共空間をどう利用し市民福祉や活性化につなげるか。
- 豊中市病院連絡協議会 ⇒ 医療機能の分担・連携で効率的医療の取り組みを。
- 豊中商工会議所顧問に就任 ⇒ 会議所や企業人との交流から産業立地都市とよなか 実現への双方向での交流が可能に。
- 民生児童委員大会 ⇒ 担い手確保と行政からの確実なサポート体制の充実。
- とよなか市民環境会議 ⇒ 環境にやさしい「まちづくり」へのヒントが...
- 豊中市老人クラブ大会 ⇒ 高齢化社会における楽しみ、やりがいの創造を...
- 全国からの視察受け入れ ⇒ 視察団との交流から見える豊中の更なる強みを...
- 近隣市議会議長との交流 ⇒ 他市の状況を知ることによって豊中市都市経営の充実と強化につなげる。



「いろいろブログ」



市議会議長に就任しました

20年以上にわたる地域活動経験を経て豊中市議会議員になって15年目の今年6月定例会で、第79代市議会議長に選定され就任しました。これまでご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

徹底した現場主義や成果でお返しすることをモットーに取り組んできた地域や議員活動も特定の団体の支援を受けず市民派無所属を通してきました。政策判断に迷ったときには「市民の利益と市政発展に役立つのか」の基本姿勢を原理原則としています。

今、様々な意味から民主主義の在り方が問われています。議長の役割は多様な意見の尊重と議論を尽くした議会の役割であるチェック機能、スムーズな議会運営の推進にあります。こうしたことをもとに市民福祉の向上と市政の発展に取り組んでまいります。

・その他のブログ記事…

- ※ 「千里竹の会」総会に出席
- ※ ○○君 がんばって！
- ※ 連日の過密スケジュール
- ※ 交通事故をなくす運動に参加
- ※ 地区会館 建替え協議

会派タウンミーティング実施

❖ 豊中を愛する市民との熱い議論とともに会派所属議員に多くの注文と応援をいただきました。

【主な内容】

①森友学園の問題と豊中市の関係について
私立小学校開校については大阪府、国有地売却については国の権限ということで豊中市には直接の関係はありません。

②千里地区の再整備の状況

セルシーなど不確定の要素はありますが北急延伸やよみうり跡地の再開発などプラス思考での相乗効果に結びつけることが大切です。

③南部地域の活性化と学校再編

6小3中を二つの小中一貫校に統廃合しなければならぬ人口減少地域のため思い切った施策の実現が不可避です。教育委員会や市の総合力が試されています。

④市政に関する市民の認識は…

一部のマンションで拒否される「市政報告」のポスティングも議員や議会の努力不足なのかと自責の念が募ります。

参加者市民からはそれでもがんばれと暖かい激励と元気をいただきました。

おらせ

高校野球発祥の地 応援団

高校野球発祥の地、豊中市応援団長にかみじょう たけし さんを任命！

(松竹芸能所属お笑い芸人で私と同じ淡路島出身です)



かみじょう さんは、高校野球大好き芸人として活動されており、さまざまな場面で多くの人に高校野球発祥の地・豊中市の魅力を伝えていただきます。また、この春「高校野球発祥の地・記念公園(豊中駅南)」がリニューアルオープンされていますので市民の皆様もお訪ねください。



私が今、何を考え何に取り組んでいるか、この「市政だより」で多くの皆さんに知っていただきたい！

公共インフラの老朽化とまちづくり

❖ どうなる千里橋の改修

よみうり跡地の超高層マンション建設と同時進行の千里橋改修方法で地元説明会でも不安の払拭がされていません。

○利用者(市民)の不安は…

- ①幅員が3.76m⇒3.30mと狭くなる。
- ②ビル風を想定した風防は南側のみ、屋根は南側の半分に設置予定。
- ③予定される通行者数や風の影響についての認識の違い。(測定方法にも問題)
- ④自転車通行の多さと雨天時等での混乱や事故の心配。が出されました。

●市の回答や意見は…

- ①現在の橋を補強や改修する場合は構造上や強度の関係で幅員が狭くなる。
- ②ビル風は南側が多いと推測するため片側とし、屋根については重量がかさむ。
- ③については大阪府や事業者の調査を根拠としているが十分な対策を要請。

④下車での指導や将来的には通行禁止も視野に入れている。

との回答や意見が示されました。

しかし、「安心と安全、快適性」は市施策の1丁目1番地であるはずだ。関西で住んでみたい町の上位にランクされている千里中央地区の「まちづくり」の現状がこれでは思いやられる。市は大きな問題を他人任せにせず、当事者としての責任と能力を如何なく発揮してほしい。

また、最新のデータや技術を活用し、今後50年のソフト、ハード両面で耐えうる事業として完成させてほしいものです。更に、こうした諸問題の原因当事者である事業者に対してもしっかりと物申す姿勢が重要だと指摘しておきたい。

❖北新田橋の歩道改修は

膨れ上がる北新田橋の歩行者増についても事業計画に入れ歩道改修に取り組むべきとの申し入れに対し、市は認識しており対応するとの答弁がありました。

・・言いたい放題・・

日本のマスメディアは大丈夫なのか。特にこの春以降の森友、加計問題などの報道姿勢は自らの在り方を否定し自滅への道を歩み続けているのかと錯覚に陥る。メディアの基本的使命は自らの取材と事実を正しく報道し国民に提供することにある。ゴシップ記事を引用したり、一部を切り取った印象操作の報道などは後世から手厳しい評価が下されるだろう。

確かに現政権には問題もある。一強政治ゆえのおごりが軽率な発言や丁寧な説明を欠いているのも事実だ。実績を積み上げてきた政権だけに一層の謙虚さが必要ではないだろうか。

しかし、問題はそれだけだろうか。社会経験や人生経験、成功体験もない風に乗った「就職手段？」かと錯覚しそうな議員の多さは何も与党だけの問題でもない。こうした人材を選んできた国民や選挙制度、現職議員も責任なしとは言えず、すべての国民が反省すべきと自戒の意味も込めて申し上げたい。

それではどうすればよいのか。前段でも申し上げたバランスを欠いた一部マスメディアの一方的報道に対して国民がメディア・リテラシー(情報を評価・識別する能力と批判的に読み解く力)と本物を見分ける力をつけることが第一だ。

いろんな体制があるが我が国は民主主義と資本主義経済を基本とした体制選択をしてきた。国民一人一人が真剣に考えることが大切だ…